



岩手県教育研究所連盟事務局  
 岩手県立総合教育センター  
 〒025-0395 花巻市北湯口2-82-1  
 平成20年7月14日発行 第9号  
[www1.iwate-ed.jp/kenkyouren/](http://www1.iwate-ed.jp/kenkyouren/)



## 県教連の一層の発展を

岩手県教育研究所連盟 会長 藤原 忠雄

(岩手県立総合教育センター所長)

岩手県教育研究所連盟は、県内各地の教育研究機関相互の連携を緊密にし、教育に関する調査・研究の充実を図り、もって本県教育の向上に寄与することを目的として、昭和33年に発足いたしました。

この間、加盟機関の増加にともなって組織的にも充実し、各地域の実態に応じた教育の実現・普及に努め、研究・研修分野において大きな成果をあげてきたところです。

昨年度は、5月に定期総会・研究協議会を県立総合教育センター会場に開催いたしました。また、9月には、所員研修会として、盛岡市先人記念館長の吉丸蓉子先生をお招きし、「教師の資質とは」と題してご講演をいただきました。さらに、1月の岩手県教育研究発表会においては、6研究所から10主題の発表をいただき、充実した研究発表会にすることができました。心から厚く感謝申し上げます。

このように、年々充実してきた本連盟ですが、平成の市町村合併等により、加盟機関が25機関から17機関へと減少したこともあり、これまで各地域での輪番開催としておりました定期総会を、昨年度からは県立総合教育センターでの1日開催に改めたところでございます。

さて、現在、日本の教育界は、大きな転換期

を迎えております。平成18年12月には、新しい教育基本法が公布・施行されたことに続き、昨年5月には、学校教育法・地方教育行政法・教員免許法と教育公務員特例法が改正・施行され、教員免許状講習制度をはじめ、学校の組織や教育委員会の在り方など、教育制度の根幹に関わる大きな変革が始まろうとしております。

また、今年3月には、小・中学校学習指導要領の改訂が告示され、4月には国の「全国学力・学習状況調査」が実施されるなど、教育内容についても新たな対応を求められる状況となっております。

このような教育をめぐる激しい環境の変化を背景に、県内の各教育研究所がそれぞれの課題や成果を共有し、協議・研修する場を設けていくことができますことは、まことに意義深いことと考えております。

今後とも皆様のご意見をいただきながら、本連盟のよりよい在り方を求めて改善してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

終わりになりましたが、県教連各加盟機関のさらなる発展を祈念いたしまして、挨拶いたします。

### ■平成20年度定期総会の報告■

平成20年5月9日(金)、県立総合教育センターにて、平成20年度岩手県教育研究所連盟定期総会及び研究協議会が開催されました。

定期総会では、昨年度事業の報告並びに今年度事業予定の承認がなされました。研究協議会は、全体会Ⅰ・Ⅱで県立総合教育センターから情報提供を行い、それをほさみ分科会を行いました。

定期総会で決定された役員は右のとおりです。また、各分科会及び全体会の協議等の様子は2面に掲載しました。

### □平成20年度岩手県教育研究所連盟役員□

会 長	藤原 忠雄	総合教育センター所長
理 事	阿部 敬行	盛岡市教育研究所長
	今野 充雅	花巻市教育研究所長
	下川原宏明	北上市教育研究所長
	中川 誠悦	総合教育センター研修部長
監 事	川村 秀彦	紫波町教育研究所長
	上杉 則篤	矢巾町教育研究所長
事務局	総合教育センター企画調査担当	
	佐藤 卓	主任研修主事
	佐藤 一義	主任研修主事
	菅原 桂吾	研修主事
	佐々木 真	研修主事

## ■ 平成20年度研究協議会 ■

今年度の研究協議会は、事務局として加盟機関の活動に役立つ情報を提供したいという観点から、全体会Ⅰ・Ⅱで県立総合教育センターから情報提供を行い、それをはさんで二つの分科会を行うという日程で行いました。それぞれの様子の一部を紹介します。

### ■ 全体会Ⅰ ■ テーマ『ネット社会における児童生徒の安心と安全の確保』

県立総合教育センター情報教育担当の鈴木利典主任研修主事を講師に、当センターが開発した教材「情報サイト」を使用して、参加者が実際にコンピュータ画面を操作し、インターネットの危険性や「情報モラル教育」の必要性等について研修しました。



### ■ 第1分科会 ■ テーマ『学力向上に関する分科会』



第1分科会では、9教育研究所から、昨年度取り組んだ学力向上事業の成果と課題、及び今年度の主な計画について、報告がありました。特に、各種検査については、各教育研究所とも、分析資料を早期に学校に提供し、2学期での改善に生かしていくことが大切だという基本姿勢を確認しました。

また、家庭・地域に独自のリーフレットを作成して配付する、授業改善例を独自にまとめて示す、指導員を学校に派遣する、地元の児童生徒の将来像を策定した事業を展開する、夏季教員勉強会を実施する、学校現場で生かせる研究を推進する、等々の各地域独自のアイデアも紹介され、充実した情報交換が行われました。

さらに、総合教育センターから、今年度は現場に役立つセンターづくりとして、出前講座や訪問指導を積極的に行うので、各学校からどんどん要請してほしいということが話されました。

### ■ 第2分科会 ■

#### テーマ『教育研究所の在り方に関する分科会』

第2分科会では、各教育研究所から昨年度の活動状況や今年度の活動計画について、特色的な取り組みが紹介され、その後、「ALTの雇用状況」や「副読本の編集・発行」、「研究員の人選」、「事業の精選」等、日常の活動に当たって困っていることや課題となっていることについて情報交換が行われました。



### ■ 全体会Ⅱ ■ テーマ『学校訪問指導の現状と課題』



全体会Ⅱでは、県立総合教育センター学力向上担当の指導主事が出席し、数学と英語の「学校訪問指導」について、昨年度の状況と課題、今年度の方針等について説明を行いました。

その中で、中学校では導入に時間をかけ過ぎ、定着を図る時間が少ないこと、高校では、考える時間を設けていないこと等が指摘され、今年度は、中学校・高等学校はもちろんのこと、小学校からの参加も是非お願いしたいとの要望がありました。

◆ 閉会行事では、藤原会長から、各調査・検査の結果の速やかな情報提供がなければ、十分な活用が保証がされないこと、家庭学習習慣の確立を図りつつ、学習が確実に定着される宿題の出し方を研究する必要があること、小学校の公開授業は他校でも日常再現できるようなモデルとして提案していく方向もあること、現場に役立つ教育センターづくりを推進していくこと等が話され、最後に共に岩手の教育を高めていくという基本姿勢が確認されました。

ワンポイント  
掲示板

分科会の中で、本県の学力向上対策の一環として行われている「学力向上のための学校訪問指導（数学・英語）」の様子について、県立総合教育センターの学力向上担当から以下のように報告させていただきました。

1 学力向上のための学校訪問指導の趣旨

この学校訪問指導では、本県の数学・英語教育が多くの課題を抱えているという認識に立ち、生徒に対してより質の高い授業を提供することを目的としています。具体的には、中学校及び高等学校の教職員が互いの授業を参観し、意見交換等を行い、研究を深め合うことにより本県の学力向上と進路希望の実現がなされることを目指しています。本年度は数学・英語とも表-1のように共通のねらいを掲げ、学校訪問指導を実施しています。

表-1 平成20度・学校訪問指導のねらいとキーワード

学校訪問指導のねらい			
1 「中・高連携」の必要性を再認識し、日常の授業に反映させる			
2 「(数)10のポイント・(英)12のポイント」を意識し、授業改善につなげる			
3 授業及び研究会等からすぐれた実践や指導のあり方・考え方を学ぶ			
授業改善のためのキーワード			
数 学		英 語	
中 学 校	高 等 学 校	中 学 校	高 等 学 校
「定着」 「学習シート」	「考える力」 「授業の目標」	「導入より定着を」 「読みとり指導の充実」	「理解から表現へ」 「ゴールの提示と評価」

2 わかりやすい授業をめざした具体的取り組み

中学校及び高等学校とも表-2に示したポイント（数学：10のポイント・英語：12のポイント）が盛り込まれている授業を目指しています。

表-2 わかりやすい授業をめざした具体的取り組みから（チェック項目）

数 学		英 語			
授業構想	1	『目標の吟味』を行っていたか。	授業構想	1	『具体的な目標』を設定しているか。
	2	『充実した教材分析』を行っていたか。		2	『教材分析』は十分か。
	3	『生徒の実態を踏まえた展開案』を作成していたか。		3	『スパイラルな指導』を計画的に行っているか。
	4	『本時で学習することの価値や有用性』を理解していたか。		4	『目的にあった活動・授業展開』になっているか。
授業中	5	『学習課題の把握』をしっかりとさせることができたか。	授業中	5	『生徒の活動量』が確保された授業か。
	6	『生徒一人一人の考えを生かした授業』になっていたか。		6	『4技能を関連』させながら指導しているか。
	7	『新しい（基礎的な）概念・原理の理解』をさせることができたか。		7	『生徒をよく見ている』か。
	8	『定着の時間確保』がなされていたか。		8	『徹底して鍛える』指導ができているか。
	9	『構造的な板書』になっていたか。		9	『どの生徒も伸ばす』指導を工夫しているか。
				10	『生徒が英語にたっぷり浸る』ことができているか。
		11	『生徒に考えさせる』指導を行っているか。		
10	『適切な自己評価』をさせるための指示を出していたか。	12	『自学できる生徒』を育てているか。		

3 研究会参加者（特に中学校教員）に呼びかけている内容

数 学	英 語
90%以上の定着を《数と式編》【正答率第3学年4月現在】 ① $8 - 5 \times (-6)$ を計算する (正答率 68%) ② 連立方程式 $\begin{cases} 5x + 7y = 3 \\ 2x + 3y = 1 \end{cases}$ を解く (正答率 65%) ③ $\frac{2}{3} \div \frac{5}{7}$ を計算する (正答率 76%) ④ $(2x + 7y) - 2(x - 3y)$ を計算する (正答率 67%) ⑤ $4(x + 5) = 80$ を解く。 (正答率 78%)	2・3年の教科書の読取教材の取扱 ○各 Unit の Reading for Communication の本文は、見開き2ページを一気に読ませる工夫をしましょう。 ○Reading for Communication の3ページ目にある Your Turn / Option の課題を「読む目的」ととらえ、outputにつなげる指導を心がけましょう。

## 教員の指導力向上を目指して！ 平成20年度「所員研修会」開催

平成20年度岩手県教育研究所連盟所員研修会を、昨年度に引き続き総合教育センターで開催いたします。各教育研究所からたくさんの先生方の参加をお待ちしています。

- 1 期 日 平成20年9月8日（月）
- 2 会 場 岩手県立総合教育センター 大会議室
- 3 対 象 加盟市町村教育研究所の所員及び研究協力員、相談員等教育関係者
- 4 目 的 教師の資質向上について学び合うことをとおして研究所事業の充実に資する。
- 5 日程・内容

◎ 9月8日（月）

12:30 13:00 13:20 14:55 15:10 16:20 16:30

受付	開会 行事	講 演	休 憩	講義と演習	閉会 行事
----	----------	--------	-----	-------	----------

【講 演】 講師 岩手県県南広域振興局一関総合支局  
エリアジョブコーディネーター（ジョブカフェ一関センター長）  
金野 馨 氏

演題 「いま、求められるキャリア教育とは」

【講義と演習】 講師 岩手県立総合教育センター 研修主事  
演題 「小学校外国語活動について」

- 7 参加申込 別紙参加申込書により、県教育研究所連盟事務局（総合教育センター内）あてに申し込んで下さい。  
不参加の場合も連絡をお願いします。
- 8 申込方法 参加申込は、別紙様式に記入のうえ、下記電子メールまたはFAXにて、事務局あてをお願いします。

メールアドレス（担当：菅原）	tyousa-r@center.iwate-ed.jp
FAX（総合教育センター）	0198-27-3562

### ◆岩手県教育研究所連盟事務局◆

岩手県立総合教育センター 企画調査担当内

住所 〒025-0395 花巻市北湯口2-82-1

Tel 0198-27-2833(直通) Fax 0198-27-3562 E-mail : tyousa-r@center.iwate-ed.jp